

福井支部創立二十周年記念式典 報告

平成23年11月12日に 福井市パレスホテルにて 福井支部創立二十周年記念式典が執り行なわれました。



記念写真 福井パレスホテルにて

本部をはじめ 各支部からも参加いただき 盛大のうちに 無事終了いたしました。

宮本支部長の式辞のあと 物故者に対する黙祷を全員で行い 田路会員から 私たちが歩んできたこの二十年の行事、山行報告をしました。

また 今年の5月にエベレストに登頂成功し それまでも マッキンリー・マナスルなど 世界の山に登頂成功し 福井支部に貢献した事で 感謝状を授与されました。

そのあと 尾上会長よりこの二十年のことを振り返り 小さい支部ながらもがんばっているという祝辞とともに 日本山岳会がますます発展するためにも 若い会員を増やして会の活動を活発にしたいというメッセージをいただきました。そのあと 県山岳連盟 長谷川副会長より祝辞を頂き ぶじ式典を終了しました。

式典の終了後 松田雄一名誉会員による 「ヒマラヤを越えるアネハツル」という演題で 記念講演をしていただきました。

ヒマラヤの先駆者である 松田雄一氏が 1958年にヒマルチュリを渡る鳥を目撃しそれをヒントに プレモンズーンの安定した天候を予想できないかと考え調べはじめたことから マナスル登

山の登頂成功にいたることなど 興味ある話が次々に話され 1時間という限りある時間があっという間に過ぎてしまいました。



約一時間 ヒマラヤを越えるアネハヅルについて 講演される 松田雄一名誉会員

福井支部が設立することになったきっかけは 平成3年に宮本支部長が 松田元副会長に「近く福井支部を発足する福井の宮本さん」と紹介された事だったというのが縁の始まりだったと聞きました。

また 松田氏の御祖父が 福井の大野出身という事で どうしても 一度大野に来てみたかったという思いをお持ちだったようで 福井支部設立において大きな存在の方だと 感じました。

設立の話から はや20年以上経ち 大家族になった福井支部を どう思われたでしょうか？

講演の後 祝賀会となり 早田岐阜支部長より 祝辞をいただき 中川石川支部長の御発声で乾杯をして祝賀会がはじまりました。

久しぶりに会う山仲間で 一気に 宴たけなわとなっていくます。



各テーブルで話が飛び交いました。

尾上会長・松田名誉会員・そして 福井支部の関会員 この御三人は 日本大学の山岳部出身の3世代トリオということで どこからともなく 山岳部の歌を歌って欲しいというリクエストがあり 急遽ステージに 三人登場して 尾上会長のリードの元 急なリクエストにもかかわらず リハーサル無しで 歌っていただきました。 とてもめずらしい光景なのでカメラマンが 取り囲み写していました。



左より 関会員 中：松田名誉会員 右 尾上会長

約2時間の 祝賀会は 山田富山支部長の万歳三唱で お開きとなり また決意も新に 30周年
に向って ますます 会の充実した活動を 誓い合いました。